

平成29年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社 九州リースサービス

上場取引所

コード番号 8596 URL http://www.k-lease.co.ip

(役職名) 代表取締役社長 代表者

(氏名) 古賀 恭介

(氏名) 檜垣 亮介

TEL 092-431-2530

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 四半期報告書提出予定日

平成28年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四 半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
29年3月期第1四半期	5,739	24.5	1,144	10.8	1,106	8.9	782	16.8	
28年3月期第1四半期	4,611	11.0	1,032	1.1	1,016	4.0	941	36.2	

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 838百万円 (31.6%) 28年3月期第1四半期 1,225百万円 (31.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
29年3月期第1四半期	34.84	
28年3月期第1四半期	41.93	

(2) 連結財政狀能

(4) 连和别或小恐			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	121,253	22,319	18.4
28年3月期	127,947	21,716	17.0

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 22,292百万円 28年3月期 21,689百万円

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円 銭	円銭	円 銭		円 銭				
28年3月期		0.00		10.00	10.00				
29年3月期									
29年3月期(予想)		5.00		5.00	10.00				

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日~平成29年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業和	削益	経常和	削益	親会社株主 当期純	こ帰属する 利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	10,000	5.9	1,750	5.2	1,700	6.6	1,200	14.7	53.40
通期	20,000	3.1	3,000	3.3	2,900	2.7	1,900	10.1	84.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無 、除外 新規 社 (社名) 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 29年3月期1Q 25,952,374 株 28年3月期 3,478,314 株 28年3月期 29年3月期1Q 期末自己株式数 22,473,057 株 28年3月期1Q 29年3月期1Q 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 自己株式数については、「役員株式給付信託(BBT),及び「従業員株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託Eロ)が所有している当社株式を含めて記載しております。

25,952,374 株

3,482,114 株

22,445,160 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく 四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大き〈異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧〈ださい。

○添付資料の目次

1.	当四半期決	算に関する定性	生的情報			 	2
(1		に関する説明					
(2)財政状態	に関する説明		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		 	3
(3) 連結業績	予想などの将来	下 判情幸	限に関する記	说明	 	3
2.	サマリー情	報(注記事項)に	に関する事	事項		 	3
(1		連結累計期間に					
(2) 四半期連	結財務諸表の作	作成に特有	すの会計処3	埋の適用 ‥	 	3
(3) 会計方針	の変更・会計」	この見積り	の変更・何	修正再表示	 	3
(4)追加情報		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		 	3
3.	四半期連結	財務諸表	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		 	4
(1) 四半期連	結貸借対照表	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		 	4
(2) 四半期連	結損益計算書及	及び四半期	関連結包括和	利益計算書	 	6
(3) 四半期連	結財務諸表に関	引する注 詞	記事項		 	8
	(継続企業	の前提に関する	5注記)	•••••		 	8
	(株主資本	の金額に著しV	>変動があ	あった場合の	の注記) …	 	8
	(セグメン	ト情報等) …		•••••		 	9
4.	補足情報					 	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策などによる企業収益の拡大や 雇用環境の改善などにより緩やかな回復基調にあったものの、新興国経済の減速や英国の国民投票 によるEUからの離脱決定による影響への懸念などから、景気の先行きは不透明な状況となってま いりました。

当リース業界におきましては、平成28年4月~6月累計のリース取扱高(公益社団法人リース事業協会統計)は、前年同期比3.0%増となっております。

このような中、当社グループでは良質資産の積み上げによる安定収益基盤の構築を目指し、積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、リース・割賦事業、融資事業及び不動産事業が増収となり、売上高は5,739百万円(前年同期比24.5%増)、営業利益は1,144百万円(前年同期比10.8%増)、経常利益は1,106百万円(前年同期比8.9%増)となりましたが、熊本地震の災害による損失の計上や税金費用の増加などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は782百万円(前年同期比16.8%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①リース・割賦

前年同期に比べて営業資産が増加したことにより、売上高は3,446百万円(前年同期比21.5%増)となり、セグメント利益(営業利益)は355百万円(前年同期比11.2%増)となりました。なお、営業資産残高は58,504百万円(前期末比0.4%増)となりました。

②融資

貸付実行高の増加や融資手数料収入の増加により、売上高は296百万円(前年同期比23.3%増)となりましたが、貸倒引当金の戻入が減少したことなどにより、セグメント利益(営業利益)は220百万円(前年同期比1.8%減)となりました。なお、営業資産残高は20,233百万円(前期末比2.4%増)となりました。

③不動産

不動産売却収入の増加により、売上高は1,814百万円(前年同期比39.5%増)となり、セグメント利益(営業利益)は601百万円(前年同期比25.8%増)となりました。なお、営業資産残高は賃貸不動産1物件の譲渡などもあり26,577百万円(前期末比19.5%減)となりました。

④フィービジネス

保険代理店収入や自動車リースの紹介手数料収入は堅調に推移いたしましたが、アドバイザリー手数料収入が減少したことにより、売上高は116百万円(前年同期比11.2%減)となり、セグメント利益(営業利益)は57百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は121,253百万円(前期末比5.2%減)と前連結会計年度 末に比べ6,695百万円の減少となりました。これは主に賃貸不動産の減少6,451百万円などでありま す。

負債合計は98,934百万円(前期末比6.9%減)と前連結会計年度末に比べ7,296百万円の減少となりました。これは主に借入金の減少6,370百万円、社債の減少368百万円、仕入債務の減少209百万円などであります。

純資産合計は22,319百万円(前期末比2.8%増)と前連結会計年度末に比べ602百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加546百万円、その他有価証券評価差額金の増加55百万円などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

- 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項
- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示該当事項はありません。

(4) 追加情報

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、取締役及び監査役(社外取締役及び社外監査役を除く)に対する業績連動型株式報酬制度「役員株式給付信託(BBT)」及び一定の要件を満たした従業員に当社株式を給付するインセンティブプラン「従業員株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております(以下、合わせて「本信託」という。)。

本信託が所有する当社株式は、四半期連結貸借対照表の純資産の部において自己株式として表示しており、当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において382百万円、1,291,900株、当第1四半期連結会計期間末において381百万円、1,288,100株であります。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8, 127	7, 776
割賦債権	11, 738	12, 072
リース債権及びリース投資資産	38, 101	38, 113
営業貸付金	19, 763	20, 183
賃貸料等未収入金	255	131
有価証券	100	100
販売用不動産	1, 175	464
その他	693	863
貸倒引当金	△657	△618
流動資産合計	79, 297	79, 087
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸不動産 (純額)	33, 028	26, 577
その他(純額)	8, 449	8, 317
賃貸資産合計	41, 477	34, 895
社用資産	1, 486	1, 451
有形固定資産合計	42, 963	36, 347
無形固定資産	205	268
投資その他の資産		
投資有価証券	4, 557	4, 680
その他	934	881
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	5, 480	5, 550
固定資産合計	48, 649	42, 165
資産合計	127, 947	121, 253

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 400	1, 190
短期借入金	34, 301	29, 845
1年内償還予定の社債	976	976
未払法人税等	285	279
引当金	119	59
その他	3, 713	3, 399
流動負債合計	40, 796	35, 751
固定負債		
社債	3, 222	2, 854
長期借入金	52, 260	50, 346
引当金	14	14
退職給付に係る負債	399	394
資産除去債務	167	172
その他	9, 370	9, 400
固定負債合計	65, 434	63, 182
負債合計	106, 230	98, 934
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 933	2, 933
資本剰余金	835	835
利益剰余金	16, 989	17, 535
自己株式	△1, 075	△1, 074
株主資本合計	19, 683	20, 229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2, 024	2, 080
繰延ヘッジ損益	△17	△17
その他の包括利益累計額合計	2, 006	2, 063
非支配株主持分	27	26
純資産合計	21,716	22, 319
負債純資産合計	127, 947	121, 253
	·	

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

		(単位:百万円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
売上高	4, 611	5, 739
売上原価	3, 123	4, 137
売上総利益	1, 488	1,601
販売費及び一般管理費	455	456
営業利益	1,032	1, 144
営業外収益		
受取配当金	16	19
その他	5	10
営業外収益合計	21	29
営業外費用		
支払利息	37	30
為替差損	_	36
その他	0	1
営業外費用合計	38	67
経常利益	1,016	1, 106
特別利益		
賃貸不動産売却益	119	75
特別利益合計	119	75
特別損失		
災害による損失		63
特別損失合計	<u> </u>	63
税金等調整前四半期純利益	1, 135	1, 119
法人税、住民税及び事業税	17	260
法人税等調整額	165	76
法人税等合計	182	336
四半期純利益	953	782
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	$\triangle 0$
親会社株主に帰属する四半期純利益	941	782

四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間

		(単位:百万円 <u>)</u> _
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	953	782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	273	55
繰延ヘッジ損益	$\triangle 0$	0
その他の包括利益合計	272	56
四半期包括利益	1, 225	838
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1, 213	839
非支配株主に係る四半期包括利益	11	$\triangle 0$

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報告	告セグメン	/ ├	その他		調整額	四半期連 結損益計	
	リース・ 割賦	融資	不動産	フィー ビジネス	計	(注) 1	合計	(注) 2	算書計上 額(注) 3
売上高 外部顧客への 売上高 セグメント間の	2, 835	240	1, 300	130	4, 507	103	4, 611		4, 611
内部売上高又は <u>振替高</u> 計	2,835	240	1, 300	130	4, 507	103	4,611		4, 611
セグメント利益	319	224	478	62	1, 084	27	1, 111	△78	1, 032

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業、物品 販売等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益調整額△78百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。
- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

								1 1 1 - 1 - 1	<u> </u>
		報台	告セグメン	✓ ト	その他		⇒田 東久 存石	四半期連	
	リース・ 割賦	融資	不動産	フィー ビジネス	計	(注)1	合計	(注)2	結損益計 算書計上 額(注)3
売上高 外部顧客への 売上高 セグメント間の	3, 446	296	1, 814	116	5, 673	65	5, 739	_	5, 739
内部売上高又は 振替高 また	2 446	206	1 014	116	F 672	-	F 720	_	F 720
計	3, 446	296	1,814	116	5, 673	65	5, 739		5, 739
セグメント利益	355	220	601	57	1, 234	9	1, 244	△99	1, 144
(N) \ F \rightarrow -	- H			· ^ · ·	>				MIG. at a m

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業、物品 販売等を含んでおります。
 - 2. セグメント利益調整額△99百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理 費であります。
 - 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

4. 補足情報

営業資産残高

セグメントの名称	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)		当第1四半期 連結会計期間末 (平成28年6月30日)		(参考) 前第1四半期 連結会計期間末 (平成27年6月30日)	
	期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・割賦						
ファイナンス・リース	38, 101	34. 3	38, 113	36. 2	32, 907	31.9
オペレーティング・リース	8, 449	7.6	8, 317	7.9	5, 365	5. 2
リース計	46, 550	41.9	46, 431	44. 1	38, 272	37. 1
割賦販売	11, 738	10.6	12, 072	11.5	11, 794	11. 4
リース・割賦計	58, 288	52. 5	58, 504	55. 6	50, 067	48. 5
融資						
営業貸付金	19, 763	17.8	20, 183	19. 2	17, 309	16.8
その他	_	_	50	0.0	474	0.5
融資計	19, 763	17.8	20, 233	19. 2	17, 783	17. 3
不動産						
オペレーティング・リース	33, 028	29. 7	26, 577	25. 2	35, 012	33. 9
その他	_	_		_	310	0.3
不動産計	33, 028	29. 7	26, 577	25. 2	35, 323	34. 2
合計	111, 080	100.0	105, 315	100.0	103, 174	100.0